



CONTENTS

- p.1 ◆ MESSAGE ◆ VOICE
- p.2 ◆ 一般事業主行動計画(令和3年4月1日~令和8年3月31日)を策定しました
◆ 相談窓口のご案内 ◆ 子育て支援
- p.3 ◆ 研究支援員制度 ◆ TREND「with コロナ/ニューノーマル時代を生き抜く」
- p.4 ◆ 2021年4月、女性活躍総合研究所に山本晶子副所長が就任しました!
◆ 研究者支援経費プログラム 採択者一覧 ◆ 異分野研究交流カフェ 2021年7月3日(土)開催報告
- p.5 ◆ 女性が働き続けるために~働く女性と学生のトークイベント~ 2021年9月7日(火)開催報告
◆ 英語個別指導「オンデマンドチューター」 ◆ ひょうご理系女子未来塾活動について
- p.6 ◆ 「第2回国際女性デー MUKOJO フォーラム」開催について
◆ お知らせ



第2回国際女性デー
MUKOJO フォーラムを
3月5日に開催します!
(p. 6へ)



Message



福井 誠 経営学部長

経営学部は昨年4月に開設されたばかりの新しい学部です。経営学部の教育研究にとって「リーダーシップ」は極めて重要なテーマなのですが、とかく組織の先頭にたつてメンバーを引っばる能力、と一昔前のイメージで捉えられがちです。

しかし最近では、メンバーの様子をよく見て適切なタイミングで支援したり、個々の能力を最大限に引き出したりすること、さらにメンバー間の相互作用を促し、組織全体にシナジーをうみ出すことこそがリーダーの役割であると認識されはじめています。

ガーズマ・ダントニオは『女神的リーダーシップ』の中で、このような流れを受けた新しいリーダー像を示しています。同書では、共感性や柔軟性があり利他的で他人の話を聞く女性的な特性がこれからのリーダーに求められるとされ、さらに踏み込んで「世界を変えるのは、女性と女性のように考える男性である」とまで述べています。

ただし、誤解のないように申し添えると、この本では女性がリーダーに適しているとも、女性的な価値観の台頭が男性の時代の終わりを意味するともいっていません。今後、男女共同参画が普遍化する中で男女の自然な調和が一層進み、女性的な特性に注目が集まってリーダーシップのイメージもしいに变化していくことになるのだろうと期待しています。

VOICE



VOICEとは・・・子育て・働き方・介護等について、教職員の方の日頃感じていることや体験談をご紹介しますコーナーです♪



末弘 由佳理 准教授 (生活環境学科)

我が子はパズル、ブロック、折り紙など手先を使つての物作りが一歳の頃から大好きである。年中の時には、園で出合ったLaQ(ラクキュー)に没頭し、それと同時期くらいにクラスメイトの年長さん男児の影響から恐竜にはまっていた。恐竜が架空の生き物か実在した生き物なのかさえよく分かっていなかった私であったが、息子から教わり、恐竜に少々詳しくなった。世界三大恐竜博物館のひとつである「福井県立恐竜博物館」へ三度ほど足を運んだ。小学生になった現在、歴史という括りでは同じであるが、現代に随分と近づき、戦国時代の武将に興味を持ち出した。社会科が大の苦手であった私であるが、息子が好きなら……。城巡り、



高速道路走行中に地名から武将の名前が浮かぶ、こんな楽しい旅があるのかと人生の午後となった年齢で知ることとなる。

目の前にいる学生の興味においても矛先は多種多様である。自身の守備範囲に留まらず、視野を広く、柔軟に持ち、次世代を担う学生たちに接していきたいものである。そして、師であるのは一概に親や先生のように年齢が上の者ではないというのを大切にしたい。

男女共同参画推進室 一般事業主行動計画(令和3年4月1日～令和8年3月31日)を策定しました

次世代育成支援対策推進法（次世代法）及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づき、令和3年度より5年間の「一般事業主行動計画」を策定しました。

武庫川学院は、全教職員が仕事と生活を両立させ、次世代を担う子ども達が健やかに育まれる環境を整備し、職業生活における女性の個性と能力が十分に発揮できる環境の整備に取り組みます。

課題

1. 一部校種及び上位管理職における女性の割合を高める。
2. 仕事と育児・介護を両立するための制度の充実及び環境整備

目標

1. 学院全体の管理職に占める女性の割合を30%以上にする。
2. 男性教職員の育児休業取得率を5%アップするとともに、仕事と家庭の両立を目的とした支援制度の充実を図る。

令和3年度の取り組み（10月以降の予定）

令和3年10月～	女性研究者ネットワーキング化及びキャリアアップ支援の取り組み検討
令和3年11月下旬	ワーク・ライフ・バランスに関するアンケート調査を実施
令和3年度中	ランチミーティング開催
令和3年度中	働き方セミナー開催
令和3年度中	メンタルヘルス研修を実施
令和4年2月	男性教職員も利用しやすい各種制度の改善案作成及び学内への周知



男女共同参画推進室 相談窓口のご案内

子育て・介護・働き方の悩みや不安を、一人で抱え込んでいませんか？

学内相談員または学外相談員が相談をお受けします（個別相談・無料）。本年度より、オンライン（Zoom、Meet）でのご相談も可能です。ご相談内容は秘密厳守です。

その他、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの代表校である奈良女子大学の相談窓口（産婦人科相談）を無料で利用できます。男女共同参画推進室までお問い合わせください。

【相談窓口専用メールアドレス】gsodan@mukogawa-u.ac.jp 【電話】0798-45-3542（内線：2901）

★『武庫川学院ワーク・ライフ・バランスハンドブック2021』（2021年6月発行・右写真）もご利用ください。



相談員の
紹介はこちら



男女共同参画推進室 子育て支援

ラビークラブ

本学では、子育てと仕事や学業が両立できるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みの一環として、学院内に一時預かり保育ルーム「ラビークラブ」を開設しています。有資格の保育士確保や毎月の防災訓練の実施など、より安心してご利用いただくための改善に取り組み、2020年4月より西宮市の「認可外保育施設」の認定を受けています。

ご利用対象は、本学の教職員、学生、大学院生等です。1日定員5名、委託業者株式会社ポピンズファミリーケアのシッターによる丁寧な保育で、ご利用者から好評をいただいています。ぜひご利用ください。

※詳細はホームページをご覧ください。



防災訓練の一コマ
※写真掲載の許可取得済

ベビーシッター派遣事業割引券（内閣府助成）が1日2枚利用可能になりました

男女共同参画推進室では、教職員（私学共済加入者）の皆様の仕事と子育ての両立を支援するため、「ベビーシッター派遣事業」の助成を受けています。ご希望の方に『ベビーシッター派遣事業割引券』を交付しており、全国保育サービス協会が認定した業者で利用できます（法人契約を結んでいる株式会社ポピンズファミリーケアでも利用可能）。当日早朝の予約受付可能な業者や、病児・病後児保育が可能な業者もあります。

割引券（2,200円）の利用可能枚数は、これまで1日（回）対象児童1人につき1枚でしたが、2021年4月から、2枚利用可能になりました。利用条件や申込方法については、ホームページをご覧ください。

※2020年度は、合計153枚の割引券の利用がありました。おさまの預け先でお困りの方は、ぜひご検討ください。

研究支援員制度とは、出産、育児、介護、看護に関わる研究者の研究活動を維持・促進するため、研究支援員を派遣する制度です。今年度は12名(育児11・介護1)が利用しています。また、昨年度後期より、女性管理職対象の研究支援員制度も設けました。食物栄養科学部長の高橋先生に第1号としてご利用いただいています。

利用者の募集は年2回実施。12月下旬に次年度募集、7月下旬に当該年度後期募集をinfo@MUSESにてお知らせします。

利用者(教員)の声

高橋 享子 食物栄養科学部長



研究支援員の泉本氏には、下記1~4の研究調査の結果と自由記述についてPC入力をお願いしています。いずれも、他大学や企業との共同研究で泉本氏の支援により、結果からまとめまでの時間が大幅に短縮されています。さらに、管理栄養士として保健所に勤務されている経験がデータ整理に生かされています。ライブイベントや管理職の女性教員に対する研究支援員制度は、研究への高いモチベーションの維持に貢献しています。

1. AMED 採択事業「日本人若手女性における血中ビタミンD濃度の実態調査」
2. キョコーマン食品株式会社「おから健康ダイエット」
3. 第一回緊急事態宣言時において食物アレルギー児の治療への影響—大阪・兵庫・奈良 24 施設での横断研究—
4. 芦屋市栄養教諭との共同研究「中学校における昼食方法の変化が生徒の食意識に及ぼす影響」

研究支援員の声

泉本 梢さん (短期大学部食生活学科学食栄養コース卒業)



卒業して云十年……人とのご縁により、母校で研究支援員をさせていただくことになりました。久しぶりに懐かしいキャンパスを目にした時は心が弾みました。

研究支援の内容は主にアンケート結果の入力を行っています。テーマは様々でコロナ禍でのアレルギー患児と保護者への影響、中学校の給食導入について、おからパウダーを用いた研究などに携わってきました。アンケート一部一部に目を通し、その声に共感や予想外の感情を知ることがあります。ここで知り得ることはとても新鮮で管理栄養士としての私を成長させてくれます。

論文作成の一端を担う研究支援員という仕事に就くことができ、高橋先生はじめ研究室の皆様との出会いに感謝しています。



TREND

TRENDとは・・・社会で話題になっているテーマについて、本学の先生にお話しいただく Vol. 13 からの新コーナーです。

第1回目のテーマは「ニューノーマル時代」。コロナ禍による新しい生活様式を総称した言葉です。教育研究所の中井昭夫先生にご執筆いただきました。



中井 昭夫 教授

(教育研究所/大学院 臨床教育学研究科/子ども発達科学研究センター
小児科専門医、子どものこころ専門医、公認心理師・臨床発達心理士)

「with コロナ/ニューノーマル時代を生き抜く」

COVID-19により私達は多くのものを失いました。世界で2億2千万人近くの感染者、子どもを含め450万人以上の大切な命を失い*、また若者を含めて多くの方が後遺症に苦しんでいます。40年前私が医学部学生の際から「風邪の治療薬ができればノーベル賞」と言われてきましたが、私達はまだその術を手にしていません。今後、感度・精度の高い簡易検査、経口や吸入での治療薬、次々に現れる変異株に対応できるワクチン開発と定期接種スケジュール、安定供給体制の確立に期待し、当面は手洗い・マスク・物理的距離と換気にこれまで以上に心がけていくことになります。

COVID-19により私達は多くのものに気付かされました。旧態依然な業務、会議、行事などのあり方からリモートワーク、フレックス、ワークシェアリングなど働き方改革2.0、家族と過ごす時間の大切さ、物理的距離ではなく今まで以上に人との繋がりの大切さ、睡眠など生活リズムや食生活の重要性、エッセンシャルワーカーへの感謝の気持ち、懸命に取り組む医療者への敬意と日本の医療体制の脆弱性など、これまで当然とされてきたこと、慣例や価値観、制度などの見直しが求められています。

COVID-19により私達は多くのものを得ることができました。特に、オンライン会議システムの進歩により、従来であれば物理的に不可能であった国際学会を含めた複数の学会・会議などへの同時参加・発表、新しい形の共同研究、全国展開での研修会・講演会の開催など、仕事、教育、研究のあり方は劇的に変化、進歩しました。一方で、真に必要な対面授業や演習とは何かが問われているとも感じています。そのような中で私は「一生を描ききる女性力を。」を具現化していくための学部・学年を超えたりリモートでのグループワークを含めた睡眠など生活習慣による脳とこころと身体の健康に関する共通講義を開始しました。

人類の歴史は感染症との戦いの歴史でもありますが、私達は何度も打ち勝ってきました。今回も人類の英知を信じて、サイバー空間とフィジカル空間を融合させたシステムによる人間中心の社会、Society 5.0の実現に向けて、with コロナ/ニューノーマル時代を生き抜いていければと思っています。

* 2021年9月20日

山本 晶子 副所長
(共通教育部)

本年4月から女性活躍総合研究所の一員となりました共通教育部の山本でございます。これまで地方自治体で、待機児童対策を始めとする子育て支援事業や男女共同参画事業等を担当してきました。共通教育部では、女性が自信と誇りを持って活躍できる社会について考える「女性が輝く社会づくり」の授業を担当しています。今後は、研究所の目指す生涯にわたる女性のキャリア開発や支援に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

2019年度文部科学省
科学技術人材育成経費補助事業(2019～2024)
ダイバーシティ研究環境実現
イニシアティブ(牽引型)

2021年度の採択者が以下の通りに決定しました。

No.	研究支援プログラム名	支援額	受賞者 / 研究代表者	研究課題名
1	ダイバーシティ推進センター 女性研究者賞	20万円	師岡 友紀 (看護学部)	脳死とされうる状態の患者とその家族の看護ケア評価指標の開発
		20万円	仁木 洋子 (薬学部)	丹波地方に自生する樹木(ヒメクロモジ、ニオイコブシ)由来素材のアンチエイジング化粧品応用に関する研究
2	共同研究スタートアップ 支援経費	40万円	宇野 朋子 (建築学部)	オフィスワーカーの靴内環境と快適性
		10万円	松山 聖央 (生活美学研究所)	阪神間エリアを事例とした人工的景観の美的価値の解明ー環境美学および環境工学による学際的アプローチ
3	異分野交流会共同研究 スタートアップ支援費	30万円	堀山 志朱代 (薬学部)	標的酵素を阻害する薬物の効率的評価システムの構築と構造誘導型創薬に向けた分子モデリングの検討

「ダイバーシティ推進センター女性研究者賞」については、9月16日(木)に受賞者への表彰式が行われ、高橋享子所長より表彰状が授与されました。受賞者からは、「ひとつ、ひとつ、地味で小さな研究業績を少しずつ積み重ねてきたことで、今、この受賞に至っていると感じます。研究費のご支援を得て、これまで実績のない領域の研究に取り組む礎として最初の一步を踏み出したいと考えています。」(師岡氏)、「丹波地方に自生する樹木から得た素材について、シワやシミなどの皮膚老化を防ぐ「アンチエイジング化粧品への応用」に関する研究を行います。研究支援費は、実験に欠かせない皮膚細胞の維持や試薬に大切に使用させていただきます。」(仁木氏)と今後の抱負と喜びの声が寄せられました。

(ダイバーシティ推進部門 福尾 恵介)

2019年度文部科学省
科学技術人材育成経費補助事業(2019～2024)
ダイバーシティ研究環境実現
イニシアティブ(牽引型)

2021年7月3日(土)14時より、本年度第1回「異分野交流カフェ」を実施しました。オンラインでの開催となりましたが、話題提供とした「テキストマイニング」に興味のある人が多く、本学だけでなく他大学の教員、院生を含め、20名が集いました。

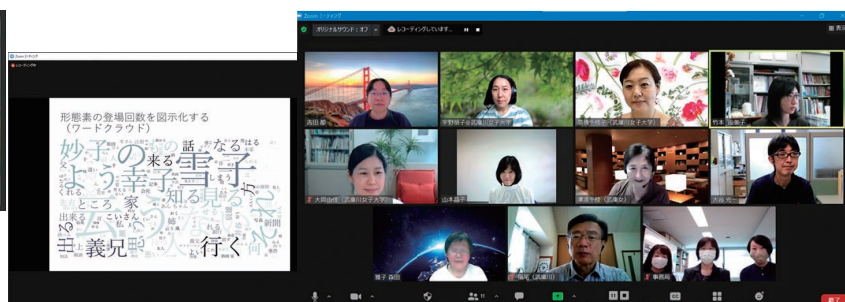
現在、ビッグデータの活用と共に様々な文字情報の分析が重要視されています。そこで今回は、テキストデータの分析手法について、本学共通教育部の大谷光一助手より「昨今のテキストマイニング事情について」と題してご講演いただきました。参加者からは、「基本から丁寧に教えていただき、参考になりました。」「分析手法について有用な情報を頂戴しました。」「研究の方法も伺え、勉強になりました。」などのお声をいただきました。

その後、参加者は簡単な自己紹介を行い、グループに分かれて交流を深めました。分析に関する話題だけでなく、日頃の研究の進め方や悩みを相談する場にもなり、「良い意見交換ができて楽しかったです。」「様々な学科の先生と知り合えて良い機会になりました。」などの感想が寄せられました。

(女性活躍推進部門 竹本 由美子)



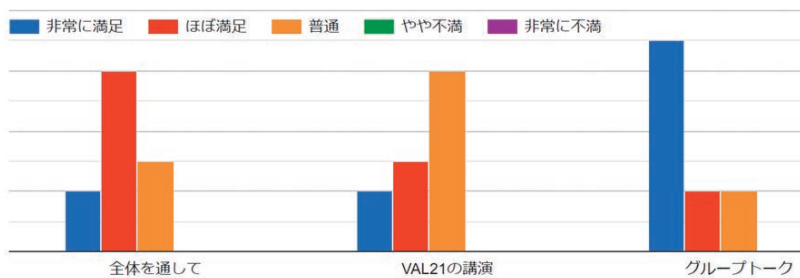
質疑応答中の大谷光一氏



2021年9月7日(火) 16時30分より、オンラインで、働く女性と学生のトークイベントを開催しました。VAL21(兵庫県経営者協会 女性産業界懇話会)から参加して下さった方は、(株)インシュアランスサービス、厚生労働省兵庫労働局、神戸市、(株)神戸製鋼所、(社福)神戸婦人同情会、住友ゴム工業(株)、生活協同組合コープこうべ、(株)ダイバーシティオフィスKITAO、(株)デンソーテン、東京海上日動火災保険(株)、兵庫県、(株)夢工房(五十音順)の代表取締役社長をはじめ管理職の女性の方々13名でした。本学の学生は様々な学部から12名が参加しました。

Zoomによる遠隔実施でしたが、6グループに分かれ、学生らが積極的に質問する姿が見られました。また、VAL21の方々も一つずつ丁寧に答えて下さいました。参加した学生らも満足度が高く、特にグループトークの時間が充実していたようです。同じような企画があれば、また参加したいと全員が回答しており、次回の企画を実施する際は、より多くの学生の参加を期待しています。
(女性生涯キャリア支援部門 吉井美奈子)

(学生向けアンケートより) イベントの満足度は?



オンデマンドチューターは、Google Meetを使用したオンラインでの英語個別指導です。2015年度より開始した本取組は、国際学会に向けた論文添削やスピーチの指導、日常英会話練習など、多くの大学院生や教職員の方々に活用いただき、のべ利用者数が100名を超えました。今年度からは受講料が無料になり、1コマ30分でご自身の目的に合わせて受講いただけます。開催の詳細は毎月MUSESでご案内しますので、お気軽にお問合せください。

(グローバル化推進部門 吉田 徹)



国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 令和2年度「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」

2021年8月10日(火) 13時より、「武庫女オープンキャンパスで親子ワークショップ」を開催し、生徒5名、保護者3名が参加しました。ワークショップでは、健康生命薬科学科の村田先生とゼミ生の皆さんが「遺伝と体質を知って健康に! アルコールパッチテストを体験しよう、自分のDNAを抽出してみよう」をテーマに講義と実験を行いました。その後、「大学生との交流会」では、村田ゼミの学生が参加者と対話形式で交流し、大学に関する疑問について回答しました。最後の「キャンパス見学」では、図書館やマルチメディア館のPC教室などを見て、大学生活のイメージを膨らませました。参加生徒からは「大学生にたくさんアドバイスをいただいた」、また保護者からは「理系の分野に子どもが興味をもつきっかけになった」という声がありました。本ワークショップは、前日の8月9日にも開催予定でしたが、残念ながら台風9号の影響で中止となりました。しかし、予定を変更して10日に参加いただいた方もあり、中学生で一足早く大学の体験ができる本ワークショップへの期待の高さが伺えました。

「ひょうご理系女子未来塾」活動報告・今後の予定



- ・中学校出前授業 Change! プロジェクト
 - 西宮市立学文中学校 10月25日(月)
 - 芦屋市立精道中学校 11月10日(水)
 - 芦屋市立潮見中学校 2月4日(金)、18日(金)
 - 西宮市立上甲子園中学校 2月下旬
 - 西宮市立浜脇中学校 3月上旬
- ・ネスレ日本株式会社共同企画 Create! プロジェクト 10月以降
- ・理化学研究所共同企画 Connect! プロジェクト 2月中旬
- ・親子対象ワークショップ Challenge! プロジェクト 2月中旬 など
(次世代女性人材育成部門 長谷川 裕紀)



「武庫女オープンキャンパスで親子ワークショップ」の様子





毎年、3月8日は『国際女性デー (International Women's Day)』です。「一生を描ききる女性力を。」をビジョンに掲げる武庫川女子大学は、「国際女性デー」の趣旨に賛同し、女性活躍総合研究所を創設した昨年度より「国際女性デーMUKOJOフォーラム」を開催しています。昨年度は、西尾亜希子教授(共通教育部)の基調講演と、投稿原稿「生涯キャリアデザインを考える」の最終審査結果発表と表彰式を行い、オンライン及び対面、DVD視聴等で、約200名近い方々にご覧いただきました。

今年度は、関西経済同友会代表幹事である株式会社プロアシスト代表取締役社長の生駒京子氏にご登壇いただき、「ジェンダーギャップ解消に向けてーダイバーシティ&インクルージョン社会と大学教育ー(仮題)」についてのご講演とパネルディスカッションを行います。

また、好評をいただいた「生涯キャリアデザインを考える」原稿募集については、対象校を拡大して募集しており、フォーラム当日に、一次、二次審査通過者による最終審査と表彰式を実施します。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

第1回フォーラム開催後に参加者の皆様よりいただいた感想の一部をご紹介します。

基調講演：キャンパスとSDGsージェンダー平等のためにー(講師：西尾 亜希子 共通教育部教授)

- ・教育におけるジェンダーバイアスやジェンダー問題の現状について、大変気づきの多い内容でした。
- ・自らの考え方を直すヒントがたくさんあった。
- ・漠然としていた自身の認識を具体化することができました。



投稿原稿受賞者の表彰式(附属高校生3名、大学生3名の受賞者によるスピーチ)

- ・今までの経験から将来を思い描くことができている、素晴らしいと感じました。チャレンジする気持ちが強く伝わってきたのも良かったです。
- ・6人の受賞者の皆さんのスピーチから、私も見習わなければ、という前向きな気持ちにもなりました。



*引き続きオリジナルピンバッジを配布していますので、ご希望の方は研究所までお申し出ください。

今年度も、生徒・学生からの原稿を募集しています!!

【テーマ】 「生涯キャリアデザインを考える」

【募集期間】 令和3年8月1日～10月31日

【応募部門】 ○中学・高等学校部門：中学・高等学校女子生徒(附属・他校*) 1,000文字程度
○大学・大学院部門：大学院・大学・短大の女子学生(本学・他大学*) 2,000文字程度

※他校・他大学は原則、2019年度文部科学省科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」連携校と、ひょうご理系女子未来塾の塾生とします。

【応募先】 武庫川女子大学女性活躍総合研究所にメールで送付 iwcareer@mukogawa-u.ac.jp

HP読み取り

応募の詳細については、女性活躍総合研究所ホームページをご覧ください。

応募原稿は事前に選考を行い、各部門の上位3名には、フォーラム当日にスピーチ発表をしていただきます。一人でも多くの学生に知ってもらえるよう、教職員の皆様からもお声かけをお願いいたします。



【女性活躍総合研究所】

- ・卒業生座談会「国内外で活躍する武庫女卒業生ー covid-19 パンデミック社会の新たな挑戦のなかでー」
2021年10月30日(土)13時～15時
登壇者：黒岩瞳氏(日本語日本文学科卒)、佐々木直美氏(家政科栄養士コース卒)、松浦莉子氏(英語文化学科卒)
- ・英語コミュニケーションセミナー 2021年11月13日(土)13時～15時
- ・関西圏女子大学 第10回異分野交流会 2022年2月5日(土)13時～17時
- ・「女性活躍総合研究所紀要」第1号 2022年3月末発行

【男女共同参画推進室】

- ・年4回程度、info@MUSESで「gsankaku通信」を発信 次回第3号は12月発行予定
- ・ランチミーティング「育児交流会」10月以降開催予定



学校法人武庫川学院 武庫川女子大学

〒663-8558兵庫県西宮市池開町6-46 本館4階407号室

男女共同参画推進室

TEL : 0798-45-3542 FAX : 0798-45-3535

Mail : gsankaku@mukogawa-u.ac.jp

URL : <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~gsankaku/>

女性活躍総合研究所

TEL : 0798-45-3737

Mail : iwcareer@mukogawa-u.ac.jp

URL : <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~iwcareer/>